

史料群番号 15

史料群名	ふくしまけん 福島県関係文書	旧所蔵者	不明
探訪時住所	(福島県会津若松市)		
現在の住所	(福島県会津若松市)		
探訪年月	不明		
史料の年代	慶応4 (1868) 年	史料の 総点数	1点
年代の内訳	近世 1点	筆写稿本	なし
既刊行目録	「平成十八年三月 水産総合研究センター所蔵古文書目録-福島県・茨城県・栃木県・千葉県関係史料-水産総合研究センター・神奈川大学日本常民文化研究所」		

収蔵にいたる経緯

水産資料館に収蔵されていた頃から、「舟串主一家文書」の1点として保管されていた。平成17年度の目録作成にあたって、「舟串主一家文書」の内容を検討した結果、13点すべてが他史料群の史料の混入であることが分かった。そのうち、「兀席湖山抄」は、内容的に会津藩に関連する史料なので、「福島県関係文書」とすることにした。

史料群の概要

慶応4 (1868) 年辰9月『兀席湖山抄(けつせきござんしょう)』1冊は、表紙に「雨三十六」と記され石井氏蔵書の朱印が2顆押印された和綴じ本である。内容は概ね会津藩降伏時に関する記録であり、文書の写が多く収録されている。作者は城主松平容保の側近と推測されるが、実際に執筆した人物は側近の家来(家司)と思われる。この史料の原所蔵者は今のところ分かっていない。幕末の若松城落城の周辺を研究する上に役立つ史料である。